

姫路・西播支部の先生方へご案内

支部研究会 他科を知る会

～医師であれば必ず遭遇する～ 蕁麻疹と薬疹の多様性と対処法について

日時 4月18日(土) 2時30分～4時30分

会場 じばさんびる5階501会議室

(JR姫路駅より南に徒歩1分、姫路市南駅前町123、TEL 079-289-2832)

講師 兵庫県立加古川医療センター

地域医療連携部長 兼 診療部皮膚科部長

足立 厚子先生

参加費 無料

皮膚科医でなくても、薬疹や蕁麻疹に悩む患者を診られることは稀ではないと思います。薬疹には播種状紅斑丘疹型、固定薬疹、多形紅斑型、スティブンスジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症、薬剤過敏症候群、光線過敏型、扁平苔癬型、蕁麻疹・アナフィラキシー型など様々な臨床型があり、その特徴や重症度、主な原因薬、対処法について述べます。蕁麻疹・血管浮腫にも食物依存性、薬剤性の他に日光、寒冷、温熱、振動などによる物理性蕁麻疹、コリン性蕁麻疹、原因不明のものがあ、時に呼吸困難や血圧低下、ショックを伴うことがあります。それぞれの診断方法、対処方法についてお話しさせていただきます。

FAX 078-393-1802

4月18日 姫路・西播支部 他科を知る会

参加()名

地区() 医療機関名()

氏名()

TEL() FAX()

お問い合わせは、協会事務局有本、沖野まで

(TEL 078-393-1803、FAX 078-393-1802)

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.212 2015年4月15日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1803 FAX/078-393-1802

姫路市長選挙・市議員選挙

候補者・会派アンケート 2氏、2会派から回答

支部は、4月26日投開票の姫路市長選挙・市議員選挙に向け、各候補者・会派に対して医療や福祉政策についてのアンケートを実施した。

アンケート内容は以下の通り。

- ① 7月から子どもの医療費について中学校3年生まで無料化(所得制限あり)にする予算案が出ていますが、誰もが安心して受診できるように「所得制限なし」とするお考えはございますか。
- ② 福祉医療制度について、姫路市の母子家庭医療費、重度障害者医療費、老人医療費は県の制度のみですが、他市町では独自の助成制度を導入しているところもあります。姫路市でも他市町のように独自制度をつくるお考えはございますか。
- ③ 姫路市では国保料が払えず滞納している世帯が17,000世帯以上ありますが、国民健康保険料の引き下げや減免制度を拡充するなどのお考えはございますか。
- ④ 夢前町の産廃処分場建設が問題になっていますが、佐用町のように水道水源保護条例のようなものを作る考えはございますか。また水質保全についてどのようにお考えですか。

市長選挙は予定候補者2名から回答があった。市議員選挙は2会派から回答があった。市民クラブ・民主党、公明党、創夢会、新生ひめじ、清風クラブからは回答がなかった。

市長選挙、市議員選挙それぞれ回答を到着順に掲載する。

2面に続く

姫路市長選挙

石見 利勝氏

① 経済的支援を必要とする若い世代が安心して子どもを産み育てることができるような環境を整備するものであり、持続可能な制度として維持するために一定の所得制限は必要であると考えております。

② 姫路市では、母子家庭等医療費助成制度については母子家庭等の子どもに対する支援の観点から、監護される児童については児童扶養手当一部支給基準未満の所得の場合に、平成26年7月から県制度に上乘せし、市単独事業にて医療費助成を行っております。重度障害者医療費、老人医療費助成制度については、県・市共同事業を柱として実施するものと考えております。

③ 国民健康保険料の引き下げや減免制度の拡充については、新たな財源または現状の財源の増額が必要となるため、現状通りにとどめるべきであると考えております。

④ 水道水源の水質確保は重要であると認識していますが、この問題は私有財産の制約や、他の法制度との整合性の観点から、国に対して法整備の強化を要望していきたくと考えております。水質保全につきましては、水質汚濁防止法に基づく河川水質の常時監視を行っており、異常が認められた場合には、詳細調査等を実施し、原因究明を行います。いずれにしましても、水源から海まで水系一貫の水質保全に努めてまいります。

北野 実氏

① 所得制限は設ける必要があると考えます。

② 福祉制度は、国や県の制度の隙間を市町の実情に合わせ独自の制度で埋めることが必要であると考えますが、市町の財源を考えると、まずは国や県がその実情を把握し、柔軟で的確な制度設計にする必要があると考えます。国や県に要望すると共に、実態を把握し検討したいと考えます。

③ 滞納者が多いから保険料を引き下げる事や減免制度を設けるという判断ではなしに、保険料がちゃんと支払できる社会を創る必要があると考えます。

④ 産業廃棄物処理法や水道法との関係があるものの、水質保全のために水源を守るという行為は、市民の生活環境と健康を守るという観点から、当然の義務であり研究をする必要があると考えます。



姫路市議選挙

無所属クラブ

※ 議会での会派名は「自民党・無所属クラブ」であるが、今回は「無所属クラブ」として回答があった

① やっと所得制度ありでも実現することができました。本来は所得制限なしで子ども達が健やかに育ち未来を担うことが目的です。格差解消をどう考えるかという別の要素もありますが、次の目標は所得制限を撤廃することだと考えます。

② 福祉制度が住む場所により異なることは不合理であり、基本的には国が同一基準で措置すべきと思っています。姫路はこの分野ではこれまで予算の配分が少なく、他市町にできていることは最低限クリアしていくため独自制度を考えていきたい。

③ 本当に困っている市民が必要な医療行為を受けられないということは大きな問題です。国保制度そのものの問題もありますが、滞納世帯を減らす為には減免制度や引き下げも検討すべきでしょう。

④ 人々の住む社会は一つの生態系として意識し次世代により良い環境を残すことは我々の課題です。水という人間が生きる上で必要な資源が安全であるための一つとして佐用町や北海道のニセコ町の様な水源を守る条例は必要だと思っています。

日本共産党議員団

① 日本共産党姫路市議団は、当初より所得制限なしの無料化を求めて予算要望をくり返してきました。所得制限があっても無料化されたことは、運動と議会との共同による大きな成果だと思っています。所得制限なしに向け、さらなる前進のために力を尽くしたいと思います。

② 母子家庭医療費は子ども医療費無料化により全体として前進しましたが、母子家庭でも所得が一定水準以上の方には負担がかかり、やはり所得制限が問題となります。また重度障害医療も、1～2級だけではなく、3～4級の方も支援が必要であり、西宮、宝塚市等のように進んでいるところもあります。市町村で差があるのはやはり問題で、国・県で良くしていくこと、そのために市として先駆けて実施し、国を変えていく力になるよう市として求めていきたい。

③ 国保料が高すぎて払えず、保険証が手元にない世帯は4300世帯を超えています。国民健康保険料の引き下げは切実です。国保会計は毎年約40億円の黒字で、1人1万円の引き下げは可能です。減免制度の拡充も必要です。公約に掲げ奮闘しています。

④ 命の水、水道水の水源を守るためぜひ条例づくりが必要だと考えます。佐用町の条例を参考に姫路市でも提案していきたいと思っています。企業活動や産廃処分場の問題は今後も引き起こされるため、水質保全をめざす、市としての独自の規制や指導が重要になってくると考えます。